

ゆうあい ほつらいん

令和元年 6月・7月号
第271号



公益財団法人
調布ゆうあい福祉公社
調布市国領町3-8-1
☎042(481)7711 FAX042(483)4378

『令和元年度事業計画概要』

公社の令和元年度事業計画概要について、ご案内します。

調布ゆうあい福祉公社は、定款に掲げた「市民相互の助け合いと自立支援のための質の高いサービスの提供を通じてあたたかい地域づくりを目指す」という理念に従い、事業運営を展開しています。

令和元年度は、平成30年度に策定した第2次中期計画の2年目に当たります。

この計画を、着実に推進するために、令和元年度は法人運営と事業運営に関し、次の運営方針を策定しました。

【法人運営】

ア 健全な公社経営

事業全般の収支バランスを注視した経営に取り組みます。調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業では、機能訓練プログラムを継続し、加算取得を維持します。

各事業で、モニタリングシートを活用しながら、設定した目標値の達成を目指します。

イ 運営体制の強化・整備

専門職を中心に確実な人材確保に取り組みます。

現在在籍する職員に対しては、引き続き、スキルアップや意識改革に向けた職場内外の研修や、勉強会等への参加を積極的に勧奨します。

ウ 施設改修の計画・準備

浴室改修については、喫緊の課題として、調布市との協議・検討を継続します。

【事業運営】

ア 介護予防の取組

介護予防・フレイル予防を重点目標として、すでに実施している総合事業通所型市基準サービスと、調布市と連携し、事業拡大します。

また、介護予防の視点から、公社の協力会員活動を、広く市民の皆さんに紹介し、参加を呼びかけます。

イ 地域の福祉人材の発掘・育成に向けた研修の充実

高齢化社会の進展は、公社の展開する住民参加型事業においても、担い手となる協力会員の減少という大きな課題となっています。これを解消するために、公社の職員が積極的に地域に出向き、新たな福祉人材を発掘し、協力会員活動への参加を促します。

ウ 認知症当事者と家族介護者支援の拡充

調布市から受託している認知症サポーター養成講座については、公社職員から募ったアイデアを基に、独自の体験研修を企画するなど内容の充実を図ります。

家族介護者支援事業では、「だれでもカフェこくりよう」の開催を継続するとともに、ケアラー支援に取り組み市内の14グループ等と連携し、意見や情報の交換を図ります。

また、認知症当事者の行動・心理症状（BPSD）の改善につながるものが期待される「日本版BPSDケアプログラム」を導入します。

エ 医療介護連携の推進

平成30年度に、医療・看護・介護・福祉の各関係機関が協働で、初めて開催した「ちようふ高齢者応援大会」については、引き続き参画し、連携の強化に努めます。

オ 地域共生社会の推進

公社が、協力会員等とともに取り組んできた、「高齢者等が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる生活の支援」を継続し、支えあう地域づくりや、多世代共生社会の構築を目指します。



「ゆいあいと私」

リレートーク 第3弾 最終回

ゆいあいを支えてくださっている方にこれまでのかわりや思い、今後期待することをお聞きします。



評議員 古屋 紀子 さん

1980年みゆき保育園開園、フルヤクリニック開所（小児科医）1998年公社理事、2012年同評議員

1970年代に9棟の高層団地が、ここ調布市国領町に営々くすのきアパートとして誕生し、保育園、幼稚園が団地内に、そして隣接する形で小・中学校が整備されました。

ゆいあい福祉公社とのご縁は、昭和50年にくすのきアパート6号棟1階にみゆき保育園を構え10年余りが経ったころ、公社初代理事長堀本節三様のご提案を受けて、デイサービスの皆

様と園児との交流が始まりました。折しも「核家族化」へと世情が変化し、祖父母との行き来も少なくなり世代間交流が言われ始めていました。昔懐かしい童謡をご一緒に歌ったり、手遊びをしてお互いに触れ合ったり笑顔で接する姿は、今も変わりにくく続いております。2000年以降は、高齢化が加速し、この国領地域の中心にある公社の役割は、重大かつ先駆的な需要を模索し、実行に移すことにあります。公社のこの30年の活動の積み重ねの中で一つをあげると、食事サービスの充実です。作り手の皆様の日々の研鑽もさることながら、周りのスタッフとの連携プレーに感心させられます。「食は生きる原点」をモットーに、今後も地域の方々のお力添えを頂き、誰でもいつでも頼れる場所としてのゆいあいのご発展を祈念いたしております。

ぶちぼあん通信

新緑が眩しい季節となりました。ぶちぼあんでも様々な花々や鳥たちが賑やかです。利用者の皆様もこれか

らの夏場に向けて食事や体操で体力づくりに励んでいます。

さて、昨年度1年、ご利用者様、ご家族様、ボランティアさん、関係者の皆様、職員、ぶちぼあんに関わる多くの方々に支えられ、無事に過ごすことができました。この場をお借りして感謝の気持ちをお伝えさせていただきます。また、雨風が強く、屋根瓦を補修したり、ぶちぼあん周辺の木々の剪定も調布市のご協力を得て実施することができました。

平成30年度実績報告

ぶちぼあんの平成30年度実績は、以下のとおりです。

- 年間開所日数…256日
- 年間登録実人数…24名
- 一日平均利用者数…10人
- 年間平均稼働率…86%

※ぶちぼあんは、土日・年末年始はお休みです。

事業運営については、年間延べ411人のボランティアが、ウエルカムドリンクのおもてなしや傾聴ボランティア、また、清掃や各種イベント時のお手伝いなど、多岐に渡り活躍をしてくださいました。

平成30年度は、隔年で開催されるぶちぼあん祭りの開催年でしたが、ぶちぼあん運営協議会の皆様のご協力で、バザーも盛況に終了しました。

また、公社の職員が出張し、協力会員の活動報告や会員同士の交流の場の設定を企画したことで、地域の方々との有益な交流が図れました。

認知症サポーター養成講座にも、地域の方々の参加があり、認知症に対する啓発活動を広げる機会となりました。

数多くの方々に支えられ、円滑で活発な事業運営を展開することができました。元号が「令和」に変わっても、利用者の皆様をはじめご家族、地域の皆様に必要なとされる事業所となるべく、努めてまいります。



デイサービスのモットー

センター長 山崎より

「無理せず、楽しめず、楽しく」をモットーにしています。

体操や個別機能訓練、レクリエーションや趣味活動など、利用者の皆さんの様々なご希望を取り入れながら、皆さんが笑顔で主体的に参加し、会話も弾ませながら「心も体も元気になる」ことを目指し、支援してまいります。

★令和元年のスタッフ紹介★

山口(瞳) 森田(玲)



左から 1列目 佐々木 東海林 山崎センター長 渡邊 尾形 山口(英)
2列目 茂田 安達 阿部 小原 柴田 小宮
3列目 西村 林田 戸沢 大谷 二見 太田

新元号「令和」

書道の武藤講師の字をお手本に、利用者の皆さんが、新たな時代への期待を込め、新元号の「令和」を、お書きになりました。



テラスでお花見

会社のテラスの桜が、今年も満開の花を咲かせました。春のうららかな陽気の中で、利用者の皆さんがお花見を楽しみました。



3月～5月の活動報告

☆来訪

- ・第六中学校 演劇部 (3月9日)
- ・ピアノ演奏 田澤さん (3月29日、5月19日)

・二胡演奏 松前さん (3月11日、4月26日、5月20日)

・ぬくもりの会 (3月13日、3月27日、4月10日、4月24日、5月8日、5月22日)

・みゆき保育園 (5月9日)

・クオレ保育園 (5月31日)

☆行事

・5月の節句 (5月7日～12日)

6・7月の活動予定

☆来訪

・二胡演奏 松前さん

・ぬくもりの会

・ピアノ演奏 田澤さん

☆行事

・対抗ゲーム

☆個人ボランティア

3月延べ 36名

4月延べ 38名

皆様のご協力ありがとうございました。

☆お礼

タオルのご寄附ありがとうございます。

引き続きタオルのご寄附をお願いします。

地域包括支援センター ゆうあいより

『こんにちは！私たちは地域包括支援センターゆうあいです』

地域包括支援センターは地域の高齢者とご家族のための総合相談窓口です。介護予防をはじめ、様々なサービスの利用や健康や福祉、医療、生活に関することの相談を主任介護支援専門員、保健師・看護師、社会福祉士の専門職がお受けしています。担当の地域は、国領町1、6丁目・国領町8丁目1番地と4番地・菊野台2丁目と3丁目です。お気軽に、ご相談ください。



調布市見守りネットワーク みまもっと



調布市内の公共施設や薬局、商店等に貼っていただいています。

調布市では、支援の必要な高齢者の方が、地域で安心して暮らしていくために、みまもりネットワーク（通称・みまもっと）を推進しています。

この取組は、地域に暮らす高齢者のご様子について、気になることや心配なこと等、地域の皆様を感じたことをお近くの地域包括支援センターにお寄せいただくことで、その方に必要な福祉サービスに結び付けたり、様々な支援を受けられるように橋渡しを行ってまいります。些細なことと思われる内容でもご連絡を頂くことで、サービスにつながり、関わるきっかけにもなりますので、お気軽にご相談ください。

◆協力会員の皆さんへ！ 『定例研修会（ランチ交流会）』のご案内

来る7月2日（火）午前11時（午後1時に、シルバークラブ国領2階（公社上階）の団欒室で、協力会員を対象とした『定例研修会（ランチ交流会）』の開催を企画しました。

皆さんは、協力会員活動の中で、遣り甲斐や喜び、一方で不安や戸惑い、また悩みなど、様々な思いを感じておられると思います。

日頃の活動の中では、なかなか話す機会のないそうした思いを、協力会員が作る食事サービスのお弁当を食べながら、協力会員同士で、語らう場を設けましたので、皆様、奮ってのご参加を、お待ちしております。

申込み等については、左記にお問い合わせ願います。

【申込み・問い合わせ】
住民参加推進係担当 モクダイ
☎042（481）7711

◆今後の協力会員対象の『定例研修会』について

公社では、今後も協力会員の皆さんを対象とした、同様の研

修会を、定期的で開催する意向で、現在、次のような企画を予定しています。

・「コミュニケーション研修」
利用者への支援を行ううえで必要な、接遇のマナーや対人援助の基礎を学ぶ研修会で、本年9月を予定しています。

・「医療研修」
専門医をお招きし、医療に関する基本的な知識を深める研修会で、来年2月を予定しています。

どちらも、詳細については今後検討を行い、皆さんのご期待に応えられる内容にして参る所存です。研修日時や具体的な内容等が決定しだい、「ほっとらいん」やチラシ・ポスター等で、皆さんに広報いたしますので、ぜひご参加ください。



公社専門相談のご紹介

公社では、調布市民を対象として、専門医による健康相談と、弁護士による法律相談を実施し、それぞれ専門的な見地から、相談をされる方々にアドバイスを行っています。

利用された方々からは、「丁寧に話を聞いてもらえて、安心しました」、「専門家に相談ができたことで、大変気が楽になりました」といった声をいただいています。

地域の方々にとり、有用な事業と成っているものと自負しております。お悩みの相談事がある方は、ぜひご活用ください。相談は、どちらも無料ですが、事前予約制となっております。ご希望の方は左記にお問い合わせ願います。

【申込み・問い合わせ】

住民参加推進係

☎ 042 (481) 7711



ご活用ください 地域支えあいのホーム ヘルプサービス

これまでできていたことが難しくなったとか、誰かに手伝ってもらいたいと感じることはありませんか？

そんな方々に、公社のホームヘルプサービスをご案内します。

お手伝いが可能な内容は、掃除（定期的な屋内清掃、不定期でのガス台やベランダ・玄関・窓ガラス等の掃除等）、部屋等の片付けや衣類・小間物の仕分け、資源ごみ等の持ち運びや調理、日用品の買物等です。

通院や趣味・娯楽等でお出かけされる際の、外出同行のお手伝いも可能です。

お手伝いには、地域の協力会員がうかがいます。右にあげた内容以外にも協力会員が可能な内容であれば、お手伝いできます。詳細は、左記にお問い合わせ願います。

【問い合わせ】

住民参加推進係

☎ 042 (481) 7711

「庭のお手入れ・草取り」を お手伝いします

草木が生い茂るこれからの季節は、庭の手入れが大変な時期になります。

「今まで、自分で庭の手入れもしてきたけれど、足腰も痛むし、負担に感じてきた。」と、お困りの方はいらっしゃいますか？

ご自宅の園庭の草取りや水遣り、植木鉢等の移動や処分等、また、枯葉の掃除や袋詰め、果実の収穫等、庭のお手入れで気になるところを、地域の協力会員が、お手伝いをします。

なお、協力会員の熱中症予防のために、7月16日（火）～9月23日（月）の間は休業いたします。

受付は6月29日（土）まで行っておりますが、詳細は左記にお問い合わせ願います。

【問い合わせ】

住民参加推進係

☎ 042 (481) 7711



食中毒に注意しよう

食中毒予防の3原則

「つけない、増やさない、やっつける」

気温と湿度の上がる梅雨から夏の期間は、食中毒の発生が増えます。原因の多くは、細菌であると言われておりますので、次の3原則を守り、食中毒を予防しましょう。

1. 「菌を」つけない

- 調理前後やトイレの後、また、肉・魚・卵に触れた後は、念入りに手洗いを行いましょう。
- 調理器具は用途で使い分けましょう。
- 食品の保存には、容器を利用し、細菌が広がらないようにしましょう。

2. 「菌を」増やさない

- 冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫はマイナス15℃以下に設定し、維持しましょう。
- 冷蔵庫を過信せずに、食料は早めに消費しましょう。

3. 「菌を」やっつける

- よく加熱しましょう。
- 包丁、まな板など調理器具は、熱湯消毒をしましょう。

デイサービスボランティア募集

はじめてみませんか、
あなたに出来るボランティア

飲み物をお出しするボランティア

・準備、提供など

・利用者とお話ししながら好みに応じた飲み物の提供

・週1回から。活動時間は1～2時間程度

レクレーションボランティア

・製作活動のお手伝い

・体操やゲーム等のお手伝い

お楽しみボランティア

・歌や踊り、ミニ演奏会、朗読

などなど一芸を發揮してください。

・個人、グループでもOK

・年1回でも。30分から1時間程度で要相談

ご寄付でボランティア

・野菜、花の苗や種

・活動に使う墨汁、半紙、千代紙、毛糸、手芸用品、折り紙等

お申し込み・ご相談 活動先

① 調布市国領高齢者在宅サービスセンター(国領町3-8-1)

☎042(481)7711

② 認知症対応型通所おちぼあん(入間町3-22-5)

☎03(3483)1681

グリーンクラブ活動のご案内

主に、公社の庭の手入れや清掃をお願いするために、協力会員や近隣の方々で、園芸を趣味とされている有志にお集まりいただき、グリーンクラブを結成しています。

活動は、概ね毎月第2・4水曜日の午後3時～4時半で、公社の庭の草取りや、四季折々に花を咲かせる球根や種の植え付けをしていただいています。
(※夏季・冬季で、それぞれ休止の期間あり)

皆さんの熱心なご尽力で、公社の玄関口が、見違える景観に変貌しました。

活動に参加される皆さんも、汗をかきながらも園庭をきれいに整備した後は、調理の得意な方のお手製のお茶請けや、皆さ



ています。

近くを散歩等の際には、ぜひ、お立ち寄りいただき、皆さんの活動の成果をご覧ください。

なお、クラブの活動に参加をご希望される方も、随時募集していますので、園芸好きな方や、この記事でご興味を惹かれた方は、左記にお問い合わせ願います。
【問い合わせ】住民参加推進係
☎042(481)7711



んが持ち寄ったお菓子やお茶で、团らんの花を咲かせておられます。クラブの活動が、地域の方々を巻き込んだ触れ合いの場になっ

筍掘報告

4月23日(火)に、調布市武者小路実篤記念館へ筍掘りに行ってきました。当日は協力会員5人の方に参加いただき、たくさんの筍を収穫することができました。掘った筍はその日のうちに下処理をし、翌日以降の献立に加えて、食事サービスを利用する会員の方へ届けました。



30周年を記念して、5名の方からご寄付をいただきました。ありがとうございます。

会員状況(平成31年4月末現在)

○利用会員 2886世帯(359人)

○協力会員 283人

○賛助会員

個人 210人
法人 8団体